

平成 30 年度 阿久和地区センター事業計画書

1 設置目的を踏まえた管理運営計画

地区センターは、地域の住民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、サークル活動などを通じて相互交流を深めていくことを目的としています。この設置目的を達成するため、瀬谷区役所との連携を図りながら、次の方針に基づき地域に密着した施設の運営に努めてまいります。

- ① センター委員会、利用者会議等における区民のニーズを反映した施設運営
- ② 幅広い年齢層やニーズに対応した自主事業の実施と自主グループの創設支援等
- ③ 地域の団体と連携した日々の活動やイベントを通じた活動拠点の提供
- ④ 瀬谷区政の重点施策である「子育て支援・青少年育成」「高齢者等の健康づくり支援」「文化・スポーツ・生涯学習支援」等の事業に対する協力体制の確立

2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

阿久和地区センターは、瀬谷区の南部に位置し、旭区、泉区にも接する地域にあります。この地域は、樹林地や水辺等の自然環境に恵まれており、阿久和北部連合自治会、阿久和南部連合自治会、三ツ境連合自治会、宮沢連合自治会などの各地区連合会の活発な地域活動の拠点としての役割を担っています。これらの地域のコミュニティの形成はかなり進んでおり、瀬谷区南部に住まわれている方々は「阿久和」という古くから有る名称に慣れ親しまれていると思います。

このような地域に立地する阿久和地区センターは、次のような施設運営を目指してまいります。

- ① 地域住民の交流の場として、センターまつり等の地域活動の場を提供します。
- ② だれもが気軽に利用でき、行ってみたい魅力ある地区センターを目指します。
- ③ 利用者満足度の高い運営を目指します。
- ④ 経費の効率化に努めます。

3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長、副館長、スタッフを配置し、全ての時間帯において責任者を含めて 3 名以上が勤務し、施設の円滑な運営に努めます。

個人情報保護に関する研修を全職員に実施し、法及び条例の趣旨の周知とともに、日々の事務における個人情報の保護の徹底を図ってまいります。

事故対応マニュアル等を整備するとともに、日頃から防犯・防災その他の緊急時対応には万全を期します。建物・設備については、損耗や老朽化の状況把握に努め、公共施設としての安全な維持・管理に努めます。

4 利用者ニーズの把握、サービス向上策、利用促進策

- ① 利用者ニーズの把握については、アンケートを毎年実施するほか、利用者会議の開催や、ご意見箱に寄せられるご意見・要望等により幅広い年代層のニーズの把握に努めます。また、地域住民の代表者で構成される地区センター委員会でのご意見をお聞きするほか、地域に出向いて、きめ細かく情報収集を行い、地域ニーズの把握に努めます。
- ② サービス向上策については、寄せられたサービスに関するご意見・要望等は貴重な財産であると認識し、迅速な対応と原因分析に努めます。なお、即座に対応できないご意見に対しては、理由や代替案をお示しすることにより説明責任を果たすと同時に、情報提供に努めます。また、職員が最善のサービスを提供するよう、笑顔でさわやかな対応に努めます。
- ③ 利用促進策については、センターだより、ホームページ等を活用して、事業紹介を行うほか、地域情報誌に積極的に情報提供を行い、利用促進に努めます。

5 自主事業計画

自主事業については、センター委員会や利用者アンケートのご意見の反映に努めながら、次のとおり、事業を企画してまいります。

- ① 幼児から高齢者まで、誰でも気軽に参加でき、相互交流と地域コミュニティの醸成を支援するため、幅広いジャンルの事業を企画します。
- ② 子ども達の健全な成長と子育てを支援するため、夏休み期間中に行う「おもしろ何でもチャレンジ」など、いくつかのワンパク事業を企画します。
- ③ 自主活動グループの形成を支援するため、ニーズを捉えた事業を企画します。また、事後グループに対しては、6回の優先利用を認めるなど自主活動グループの育成を支援します。

平成30年度 阿久和地区センター自主事業計画書

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	日本史講座 ～戦国時代から江戸・明治へ～	どなたでも	30	4月～5月	6	48,000
2	気軽に♪健康体操	どなたでも	30	4月～6月	5	30,000
3	癒しのヨガ	どなたでも	30	4月～6月	5	40,000
4	「横須賀」散歩～美術館と観音崎灯台～	どなたでも	20	5月	1	15,000
5	料理教室「旬を楽しむ～春～」(託児付)	どなたでも	16	5月	1	10,000
6	お菓子工房「Keimin」春のスイーツ作り	どなたでも	16	5月	1	6,000
7	日常英会話教室(初級)	どなたでも	10	5月～6月	4	32,000
8	心も体も健やかに「阿久和の健幸講座」 ①音楽で脳トレ ②カラーレッスン ③さわやかスポーツ ④健康ウォーキング ⑤朗読会 ⑥冷蔵庫整理と時短料理 ⑦エンディングノート ⑧ゆったり健康体操	どなたでも	20	5月～3月	8	45,000
9	ベビー・リトミック	首の座っている乳児～歩き始めの親子	15組	6月～7月	4	24,000
10	クラフトテープ工芸～手提げバッグ～	どなたでも	12	6月～7月	3	24,000
11	台湾の家庭料理①	どなたでも	16	6月	1	6,000
12	料理教室「旬を楽しむ～夏～」(託児付)	どなたでも	16	7月	1	10,000
13	大人の塗り絵	どなたでも	16	9月～10月	3	24,000
14	リラックス・ヨガ	どなたでも	30	10月～11月	5	40,000
15	シニア体操	どなたでも	30	10月～11月	5	40,000
16	料理教室「旬を楽しむ～秋～」(託児付)	どなたでも	16	10月	1	10,000
17	お菓子工房「Keimin」秋のスイーツ作り	どなたでも	16	10月	1	6,000
18	日本史講座	どなたでも	30	10月～12月	5	40,000
19	HAPPYハロウィン	どなたでも	先着160	10月	1	30,000
20	台湾の家庭料理②	どなたでも	16	11月	1	6,000
21	干支の切り絵(子)	どなたでも	16	11月	1	6,000
22	生芋から「蒟蒻」作り	どなたでも	16	12月	1	1,000
23	プリザーブドフラワー・アレンジメント	どなたでも	12	12月	1	6,000
24	HAPPYクリスマス	どなたでも	80	12月	1	30,000
25	昔ながらの味噌作り	どなたでも	24	1月	3	19,000
26	料理教室「旬を楽しむ～冬～」(託児付)	どなたでも	16	2月	1	10,000
27	カラーリングに親しもう	どなたでも	30	5月～3月	6	42,000
合 計					76	600,000

平成30年度 阿久和地区センター自主事業(ワンパク)計画

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	子どもバドミントン教室	小・中学生	20名	4・6・8・10・12月	5	35,000
2	子ども卓球教室	小・中学生	20名	5・7・9・11・1月	5	35,000
3	親子社会見学 JAL機体整備工場	小・中学生と保護者	45名	5月13日(日)	1	10,000
4	瀬谷図書館司書による『楽しむ絵本』	乳幼児と保護者	自由参加	5月	1	2,000
5	夏の小物を作る(インテリア類)	小・中学生	16名	6月	1	20,000
6	原中学校ボランティアによる夏休みのおはなし会	乳幼児から	自由参加	7～8月	4	10,000
7	日立ふしぎ発見理科ひろば	小学生	20名	8月	1	23,000
8	小物作り(アクセサリー類)	小中学生	16名	8月	1	20,000
9	夏のプリザーブドフラワー	小・中学生	20名	8月	1	22,000
10	音楽とあそぼう！ リミック・ランド	乳幼児と保護者	20名	9～10月	3	24,000
11	森永エムズキッチンによる3時のおやつ作り	3歳～小学生(3～6歳は保護者同伴)	24名	9月	1	10,000
12	カシュCacheの人形劇	乳幼児と保護者	自由参加	10～12月	1	12,000
13	アクセサリー	小中学生	16名	10～12月	1	18,000
14	クリスマスのお菓子	小学生	20名	12月	1	13,000
15	子どもダンス教室 ヒップホップを踊ろう	小・中学生	20名	12～1月	4	36,000
16	お菓子工房Keiminさんの子どもお菓子教室	小・中学生	16名	1月	1	20,000
17	日本DIY協会によるこども工作教室	小学生	20名	2月	1	20,000
18	瀬谷図書館の出張『ひよこのおはなし会』	乳幼児と保護者	自由参加	3月	1	2,000
合 計					34	332,000

平成30年度 阿久和地区センター自主事業(共通)計画

(ニーズ対応費で対応)

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	おもしろ何でもチャレンジ	どなたでも	自由参加(事前募集もあり)	7月	1	250,000
2	センターまつり	どなたでも	自由参加	2月	1	250,000
合 計					2	500,000

平成30年度 「横浜市阿久和地区センター」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	36,308,000		36,308,000		36,308,000	横浜市より
利用料金収入	3,190,000		3,190,000		3,190,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	481,000		481,000		481,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	1,355,000	0	1,355,000	0	1,355,000	
印刷代	130,000		130,000		130,000	
自動販売機手数料	925,000		925,000		925,000	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他 (加竹利用料等)	300,000		300,000		300,000	
収入合計	41,334,000	0	41,334,000	0	41,334,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,387,000	0	22,387,000	0	22,387,000	
給与・賃金	20,222,000		20,222,000		20,222,000	
社会保険料	1,720,000		1,720,000		1,720,000	
通勤手当	268,000		268,000		268,000	
健康診断費	159,000		159,000		159,000	
勤労者福祉共済掛金	18,000		18,000		18,000	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	2,332,000	0	2,332,000	0	2,332,000	
旅費	11,000		11,000		11,000	
消耗品費	750,000		750,000		750,000	
会議賄い費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	125,000		125,000		125,000	
通信費	230,000		230,000		230,000	
使用料及び賃借料	470,000	0	470,000	0	470,000	
横浜市への支払分	75,000		75,000		75,000	自動販売機目的外使用料
その他	395,000		395,000		395,000	
備品購入費	150,000		150,000		150,000	
図書購入費	430,000		430,000		430,000	
施設賠償責任保険	46,000		46,000		46,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	26,000		26,000		26,000	
リース料	64,000		64,000		64,000	コピー機 (再リース) ・カラオケ機器
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
事業費	1,381,000	0	1,381,000	0	1,381,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	1,381,000		1,381,000		1,381,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	10,413,000	0	10,413,000	0	10,413,000	
光熱水費	6,300,000	0	6,300,000	0	6,300,000	
電気料金	3,500,000		3,500,000		3,500,000	
ガス料金	1,800,000		1,800,000		1,800,000	
水道料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
清掃費	622,000		622,000		622,000	
修繕費	600,000		600,000		600,000	
機械整備費	345,000		345,000		345,000	
設備保全費	2,546,000	0	2,546,000	0	2,546,000	
空調衛生設備保守	1,238,000		1,238,000		1,238,000	
消防設備保守	63,000		63,000		63,000	
電気設備保守	333,000		333,000		333,000	
害虫駆除清掃保守	39,000		39,000		39,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	873,000		873,000		873,000	
共益費	0		0		0	
公租公課	1,757,000	0	1,757,000	0	1,757,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,757,000		1,757,000		1,757,000	
印紙税	0		0		0	
その他 ()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	2,000,000	0	2,000,000	0	2,000,000	
本部分	2,000,000		2,000,000		2,000,000	指定管理料から必要な額を差引いた額
当該施設分	0		0		0	
二一ズ対応費	1,064,000		1,064,000		1,064,000	
支出合計	41,334,000	0	41,334,000	0	41,334,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	い 計画内容及び運営目標に対する実績	う 今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ご意見・クレームは重要なニーズであると認識し、可能な限りニーズを把握し、迅速に対応します。 			第38条第1項
	<p>(4)オ 利用者サービス向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主事業の申込方法について、既の実施しているワンパク事業のインターネット参加申込と同様、一般参加申込についても、平成29年度から地区センターのホームページより申し込めるようにしましたが、更に実施件数を増加させるよう検討します。 			
業務運営	<p>事業計画書</p> <p>(4)イ 利用促進策</p>			

<p>① 利用者アンケートでの「職員の対応について」、常に 80% 以上の方に「満足」と回答いただいておりますが、平成 32 年度までには 90%以上の方に「満足」していただけるよう運営に努めます。</p> <p>② 利用者団体の会員募集について、会員募集支援イベントを実施するほか、ホームページやセンターだよりへ会員募集情報の掲載を行い、積極的に支援活動を行います。</p>			
<p>(4)キ 本市重要施策に対する取組</p>			
<p>① 環境への配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市節電・省エネ対策基本方針に従い、室内温度の設定など環境対策に取り組めます。 			
<p>(5) 自主事業計画</p>			
<p>① 幼児から高齢者まで、誰でも気軽に参加でき、相互交流と地域コミュニティの醸成を支援するための事業を実施します。</p> <p>② 自主活動グループの形成を支援するための事業を実施します。</p>			
<p>(6) 施設の維持管理計画</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜市の「公共施設の長寿命化基本方針」に基づき、施設の安全性と利用しやすさを確保するため、施設点検結果に基づく補修を行うほか、器具・備品等の更新を行います。 			

職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3)イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職場において、指定管理者として遵守すべき法及び条例の趣旨の周知をはかるため、「個人情報保護研修」を実施します。 利用者の方々に気持ちよく利用していただくため、コミュニティスタッフには、必要な一定の知識と資質が求められることから、「人権研修」を実施します。 			
	<p>事業計画書</p> <p>(7)イ 増収策について</p> <p>稼働率を増加させることが、直接増収に繋がるものと考えられますので、次の増収策を実施し、平成32年度末までに年間稼働率5%アップ（平成27年度対比）を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に対し、登録団体立上げのための情報提供を行うほか、地区センターHPを活用して、登録団体を増やします。 既登録団体活動の活性化に向けて、毎年、会員募集支援イベントを実施するほか、センターだよりやHPなどに会員募集記事を掲載して、センター利用回数を増やします。 			
財務				

	(7)ウ 支出計画の考え方について			
	① 支出削減策の検討 ・ 電気設備については、節電に努め、不要不急の照明は消灯して、電気料金の削減に努めることにより、光熱水費について、予算額対比で10%減を目指します。			
	(4)カ ニーズ対応費の用途について（地区センターのみ） 安全で、快適にご利用いただけるよう、利用者のご要望にお応えしていくほか、次の用途に使用します。 ① 古くなった設備や備品について、順次更新します。 ② 体育室内配備の団体利用者向けのスポーツ器具を購入します。 ③ 小・中会議室をより多目的に利用していただくための備品を購入します。			
その他 （上記4つの視点以外の項目があれば追記）				
利用者等の意見		意見、要望に対する対応		

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載